

## 新たな不登校が生じない取組 「未然防止」の取組

### 不登校が生じない魅力ある学校・学年・学級づくりの推進

#### 【取組1】(A中学校)

##### ○コミュニケーション能力を育成する授業の実施

「総合的な学習の時間」では、外部講師を招いて生徒のコミュニケーション能力の向上を目指し、「コミュニケーションの授業」を実施した。生徒は、コミュニケーションに関する講義を受けるとともに、実際に友人とコミュニケーションを取りながら体験的な活動を行った。対人関係を結ぶコミュニケーションスキルを学び活用していくことで、人との関わり方や人間関係形成能力の育成を目指している。およそ1週間後に実施される宿泊行事において、その際に学習した内容を実践する機会を設定したことで、コミュニケーションを活性化させ、クラスや学年のきずなを深めていくことにつながった。



#### 【取組2】(A中学校)

##### ○生徒会によるレクリエーションの企画・運営

生徒総会で、「登校することが楽しい学校」にすることが承認されたことを受け、生徒会を中心として、生徒が参加する様々なレクリエーションの取組が企画・運営されている。1回だけの取組にするのではなく、6月6日に「だるまさんがころんだ」、7月1日に「フリースロー大会」、7月14日に「O×クイズ大会」、7月15日に「じゃんけん列車大会」と、複数回実施している。また、前回までの反省を生かしながら、生徒からの要望やアイデアなどを取り入れて改善が進められている。生徒が主体的に企画・運営する取組を通して、きずなづくりが進んでいる。



#### 【取組3】(B中学校)

グループ学習の発表の場面では、発表するグループが、発表を聞くグループから分かりづらい点や疑問点に必ず答えるという明確なルールを確立している。

また、グループでの話し合いを基に自ら考え、選択・決定して分かりやすく発表する力を養っている。質問者は、他人の発表をしっかりと聞いて、自分の考えとの共通点や異なる点を比べながら互いに認め合うなど、共感的な態度も養っている。

#### 【取組4】(C中学校)

年度当初に、支援方法の共通理解を図るため校内別室指導支援員を対象に校内研修を実施した。昨年度までの支援の成果や校内別室運営の課題、登下校、給食の配膳、オンライン授業参加など校内別室利用生徒の対応について確認した。

特に、生徒の登下校に関する情報は、一人1台端末のチャット機能を利用して送受信し、リアルタイムで担任や学年の先生と情報交換を行えるよう、理解と協力を依頼した。

## 多様な学びの場を確保する取組

### 〔「早期支援」及び「長期化への対応」の取組〕の推進

#### 支援会議（C中学校）

毎週定期的に行われる支援会議では、不登校や不登校傾向のある生徒に関する支援ばかりではなく、特別な支援が必要な生徒や様々な問題のある生徒の支援についても検討しており、不登校支援が必要になる可能性の高い生徒の早期発見、早期支援に有効に機能するとともに不登校の未然防止に役立っている。

#### アウトリーチによる支援（C中学校）

不登校傾向がある生徒の家庭訪問を担当と共に実施し、当該生徒の保護者と生徒本人に話を聞くことができた。

タイミングを見計らい、担任と不登校対応巡回教員が意図的・計画的に家庭訪問をすることによって、家庭での困り感や不安感を軽減させることができ、生徒の登校につなげることができた。

#### 学校図書を活用した校内別室の環境整備（B中学校）

校内別室を利用する生徒にとって居心地の良い快適な場所として機能するように、同校の校内別室指導支援員と学校図書館担当者が連携して校内別室に150冊ほどの学校図書を常時配備し、校内別室利用者に閲覧や貸し出しができるようにした。

校内別室の学校図書を利用する生徒は、閲覧記録用紙に図書名を記入する。学校図書館担当者は、それぞれの生徒の閲覧記録を参考にして興味のあるような図書を把握し、図書の入れ替えを定期的に行っており、入れ替わった図書を楽しみにしている生徒もいる。学校図書を配備することによって校内別室の雰囲気が変わり、生徒が継続して利用しやすい空間へと変化した。

#### デジタル機器を活用した支援（C中学校）

一人1台端末を活用し、校内別室と教室をオンラインで結び、教室での授業の様子を校内別室で見ることができている。その日の授業で利用するプリントを授業者から受け取り、校内別室で当該生徒に配布することによって授業参加の効果を高めている。また、授業中の小テストも校内別室で受験することができる。

#### 関係機関との連携（A中学校）

A中学校は、教育支援センターと地理的に近いこともあり、午前中に教育支援センターで学習し、中学校で給食を食べ、午後からは中学校で学習している。校外の教育支援センターと校内別室において、当該生徒の生徒情報を共有するなど連携を図りながら支援にあたっている。

### 成 果

昨年度に比べて不登校生徒の割合が減少した。校内別室指導支援員の配置が進み、校内別室を毎日開室することで校内別室利用者への支援が進んでいる。

### 課 題

不登校の未然防止と校内別室を利用している生徒の学業の遅れを取り戻すための学習習慣を身に付ける取組の充実が課題である。